

令和5年度 就職先調査の実施報告（看護学科）

1. 調査名・目的

1) 調査名：「令和5年度 仙台青葉学院短期大学看護学科 就職先調査報告」

2) 調査目的：

- (1) 本学卒業生の能力・資質に関する就職先管理者からの評価
- (2) 本学のカリキュラムや教育手法の見直しや工夫等に活用

2. 調査対象・方法等

1) 対象者：本学を令和4年3月に卒業し就職した施設の直属の上司または管理者80名

2) 調査方法：Google Formsを用いてのWeb上での質問調査

3) 調査期間：令和5年6月9日～7月14日

4) 調査内容：

(1) 調査項目（以下の11項目毎の設問作成・別紙の通り）

- ① 知識 ②コミュニケーション力 ③数量的スキル ④情報リテラシー
- ⑤ 論理的思考力 ⑥問題解決力 ⑦自己管理能力 ⑧チームワーク・リーダーシップ
- ⑨ 倫理観 ⑩生涯学習力 ⑪総合的能力

(2) 回答方法：

上記の11項目毎に1～4個の設問内容に以下の5段階で回答を求めた。

「5：とてもそう思う」「4：ややそう思う」「3：どちらともいえない」

「2：あまりそう思わない」「1：そう思わない」

3. 結果

1) 回収率：40%（回答者32件、令和3年度回収率49.4%）

2) 項目別結果：別紙「卒業生の能力・資質の評価」に示した。

※結果の要約 全項目平均が3.6であった。平均を上回る評価を得ている項目は、「コミュニケーション能力」「自己管理能力」「倫理観」であり、平均を下回る項目は、「数量的スキル」「論理的スキル」「問題解決力」であった。この傾向は、昨年度の調査と同様の結果となっている。

4. 教育内容への反映

平均を下回る項目である「数量的スキル」の改善には、能力別にクラス分けしたリメディアル教育を実施している。「論理的スキル」、「問題解決力」の向上については、特に、看護の専門科目（各科目の看護過程の学習）において、意識的にスキルアップを図る努力を行っている。

卒業生の能力・資質の評価

